

中央公民館存続願いならず！

総務文教常任委員会が存続請願を不採択

「沼田市中心公民館の現状とこれからを考える市民の会（亀山晶子代表）」が、12月沼田市議会に提出していた「中央公民館の除却を撤回し、存続を求める請願」は8日に開催された総務文教常任委員会で審査され、全会一致で「不採択」になりました。

同請願書には、38団体、1000人を超える利用者の賛同署名が添付されていましたが、総務文教常任委員会は、市が強引に進める廃止・除却を認め利用者の切実な声を踏みにじる道を選びました。審査の結果は12月議会最終日の11日に行われる本会議に報告され、議会全体で審議し、採決が行われます。



井之川博幸議員は中央公民館の存続を主張

一般質問で「利用者の声を聞け」と市長・教育長に要求



井之川博幸市議

井之川博幸議員は、請願審査の前の7日、一般質問を行い中央公民館の果たしてきた役割の大きさや7年前に7千万円かけて耐震改修工事を行なって本体は今後も十分使えることなどを明らかにするとともに社会教育委員会議など中央公民館に関連する市民代表が構成するいくつかの会議を含め利用者委員会にも「廃止・除却」への意見を聞かずに「強行」することを糾弾し、最後まで利用者の声を聴くよう訴えました。

業者と職員の癒着構造を含め第3者委で調査し再発防止を・井之川議員が要求

職員・業者が逮捕された談合事件は、本市は過去に業者と職員がゴルフコンペ・宴会などを行った結果、数々の不正が「内部告発」され、当時の市長及び幹部

がその一部に関連して処分された経験があり、業者と職員の癒着構造を徹底調査し、再発防止につなげるための第3者委員会が、絶対必要と要求しました。

保育士の「配置基準と処遇」改善請願は採択へ 民生福祉常任委員会で全会一致採択

沼田市私立園長会から提出されていた請願第5号保育士の配置基準及び処遇改善と安心・安全な保育の確保を求める意見書提出を求める請願は、付託された民生福祉常任委員会で9日に審査され、全会一致で「採択」となりました。



保育士さんと子どもたちのお散歩

11日の本会議に委員長報告され、全会一致で採択される見込みで、衆参院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣など関係閣僚に、①配置基準を改善し保育士を増員すること ②保育士および職員の賃金の抜本的引き上げと処遇改善 ③保育環境の基準を引き上げ安心・安全な保育が確保できるよう措置することなど3項目を要望します。

「運営費補助金」の継続と充実を求める陳情を採択

9日に開催された民生福祉委員協議会では、私立園長会から提出された「民間教育保育施設運営費補助金」の継続と充実を求める陳情書が審査され、全会一致で「採択」されました。

井之川委員は審査の中で、「東保育園の廃止や南保育園の民営化などを計画し、将来の保育を民間施設に託そうとしている沼田市は、『運営費補助金』の継続、充実は当然のこと」と述べ、採択を主張しました。



2020年12月13日 No.998

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料